

STEPっ子パラダイス

all for ワンダーフォー!!

えぬぴーおーほえん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいぼう
すてっこぱらだいす
おーるふあわんげふおー

ねん がつごう
2006年3月号



ある日いきなりテレビがうんともすんとも言わなくなったのです。自立生活
はじめて約7年、その頃に全て新品で買い揃えた家電製品もそろそろガタが来る
時期だそうで…。今、家電の寿命は7、8年だと電気屋さんに言われ、へえ～！
と新発見（私だけ?!）したのと、その前から他の家電もおかしくなりつつあ
ったので納得。。いやあ、東京に来て7年も経っている自分にはビックリ！！
色々あったけど、何とか来れたこの7年、共に過ごしてくれたテレビにも感謝！
でも、私はテレビのようにいきなり止まるワケにいかない。これからも自分を
大事に、自分を楽にしていこう。自分以外の人も大切に思えるように。

目次
もくじ

はじめに	1
<small>クリスマスほうこく</small> Xmas報告	3
<small>ぴあかうんせりんぐしゅうちゅうこうざかん</small> ピアカウンセリング集中講座を感じました	5
<small>しょうがいしゃじりつしえんほう</small> <small>でいーえぬえー</small> 障害者自立支援法のDNA	6
へるぱーさんたちのあそびば	8
<small>かつやみつぶ</small> <small>じょうほうはっしん</small> <small>こーなー</small> 勝矢光信の情報発信!!コーナー	9
<small>とうだい</small> 灯台	11
<small>かつどうほうこく</small> <small>かつどうよてい</small> 活動報告・活動予定	13
<small>かいいんぼしゅう</small> 会員募集	15
<small>へんしゅうこうき</small> 編集後記	16



くりすます ほうこく X'mas 報告

まるた きみえ つちや みねかず
丸田 君枝・土屋 峰和

さ がつ にち しゆく みなみしのぎき こみゆ にて いかいかん だい かい めりー
去る 12月23日 (祝) 南 篠崎 コミュニティ 会館 にて 「第2回 MERRY
くりすます なに じぶん かいさい かいさいちよくぜん
CRISTMAS!! ~何があっても自分らしく~」を開催しました。開催直前に
ばしよ へんこう いただ もう こ いただ じかん へんこう
場所を変更させて頂くほどた~くさんの申し込みを頂き、また時間の変更
によつてご迷惑をお掛けしてしまった事もあります、総勢61名という
だいせいきょう お
大盛況に終わりました。

さくねん ちが かお ことし さんか ひと さまざま ひと かか
昨年とはまた違った顔ぶれや今年も参加してくれた人、様々な人と関わつ
いちねん じっかん うれ かん でき
てこれた一年だったなあ…と実感でき、とても嬉しさを感じることが出来ま
した。

さぶたいとる なに
サブタイトルの“何があつて
じぶん どお ことし どぎも
も自分らしく”通り、今年も度肝
ぬ さまざま かそう
を抜くような?! 様々な仮装な

じぶん
どで、それぞれ自分らしさを
ひょうげん ことし めだま
表現したり、今年が目玉は、
おーていー さぎょうりょうほうし
O T (作業療法士) のたまご

たち うたあんどえんそう えどがわ
さん達の歌 & 演奏と、「江戸川

やじゅうくみあい かがた だんす こども のりのりおおよこ と い だんさ
野獣組合」の方々のダンス! 子供たちもノリノリ大喜び! 飛び入りのダンサー
ー あらわ おおも あ かっこよ
一も現れて大盛り上がりでした。みんな、カッコ良かったよねっ!!



しょうがい おとな
障害があつてもなくても大人も
こども おな くらかん じかん きょうゆう
子供も、同じ空間と時間を共有し、
みと あ たの
それぞれを認め合いながら楽しめる。
ばしよ みな
そんな場所をこれからも皆さんと
いっしょ つく おも
一緒に作っていきたいと思います。
さまざま きょうりょく いただ みな
様々なご協力を頂いた皆さん、ありがとうございました!! また
じかいあ
次回逢いましょう!



ぴあかうんせりんぐしゅうちゅうこうぎ
ピアカウンセリング集中講座を
かん
感じました

おーがないざー よしもと りゅうじ
オーガナイザー：良元 竜次

さくねんど ひきつづき 2月5日から二泊三日で東京都多摩障害者
スポーツセンターにて「ピアカウンセリング集中講座」を開催しました。
リーダーにHANS世田谷より堀内さんとCIL文京の木村さん、CILくれ
ばすの小林さんに応援して頂き、サブリーダーに当センターの丸田が初のサブ
を務めてくれました。昨年利用した会場が予定に合わず、少し遠い会場でし
たが受講生は5名。地元の当事者と日頃STEPに係ってくれてる近県の
当事者、遠くは九州から、そして初めての人、それぞれの気持ちで受講して
くれました。

私の経験からですが、集中は泊まり参加が殆どで講座へ参加する
ドキドキ感と初めて会う人達と寝起きを共にする緊張感などもあります。だけ
ど初日の講座が終わる頃には、何だか初めて寝起きを共にする関係ではない
感じがするんですね・・・(苦笑) これって、ピアカンマジック？

講座の様子は分かりませんが恒例の交流会では、割り箸を口で咥え輪ゴムを
隣の人へ渡して行くというゲームと、「好きです！」と隣の人へ伝えるゲーム
をやりました。ゲームとは言え、「好きです・・・」と相手の目を見て伝えるなん
て日常的には、もちろん中々ある事ではありません。しかも・・・隣が同姓と
なると尚更です。しかも、その後に輪ゴム渡しなんて、とても強烈だったんじ
ゃないかと思います。寒い季節にお勧めのゲームと成り、それぞれが暑く萌えた
かな？これからのSTEP恒例のゲームにしたいと密かに思っています。
ピアカンって、色んな感じをすることが出来る場所、色んな事を話していい場所、
色んな仲間がいる場所、元気になれる場所、そして、前に進める場所なんだと
改めて感じました。自分を好きに成り、相手も好きになれる、そんな
ピアカウンセリング講座を私達はこれからも続けて行きたいと感じる事が
出来たと思います。

しょうがいしゃじりつしえんほう
障害者自立支援法の
 でい えぬ えー
D N A

いまむら のぼる
 今村 登

3月末を持って支援費制度が終わりを告げ、障害者自立支援法へと移行する。新しいサービス体系に移行するのは10月からだが、定率負担（1割負担）の徴収は先行して実施される。10月までの半年間で新しい支給決定プロセスを経て、サービスの内容が決定される。この新しい決定プロセスは、限りなく現行の介護保険に酷似したものとなっている。決定プロセスだけでなく、障害者福祉制度全般の再編が成され、介護保険統合に向けた地ならしと言っても過言ではない仕組みとなっている。

介護保険への統合はこれまでも賛否両論あり、単に財源確保のために統合すれば問題解決とはいかない。私自身はこのままでの統合は反対だが、右肩上がりの高度経済成長の時代は終わり、少子高齢化により人口減少の国へと国状が変革する中で、増え続ける社会保障費の削減を急ぎたい財務省や厚労省なり政府の主張が全く理解できないわけではない。改革にはスピードが重要になる場合があることも分かる。しかしながら、拙速なまでの過程を経て強引に成立した障害者自立支援法を見ていると、正に「仏作って魂入れず」といった観は否めない。何故なら自立支援という名前がついていても、言っていることは「人の手を必要とする者が安心して人間らしい暮らしを望むなら、我慢して頑張れ！ただし機会の均等・平等は保障しないよ」ということであるからだ。ただ、これも利用者側、事業者側から見た場合であって、政府側からしてみれば、社会保障費カット、ただひたすらに歳出削減が至上命令という方針の政府側に立ってみれば、見事なまでに作った仏に魂は込められているということだろうか。

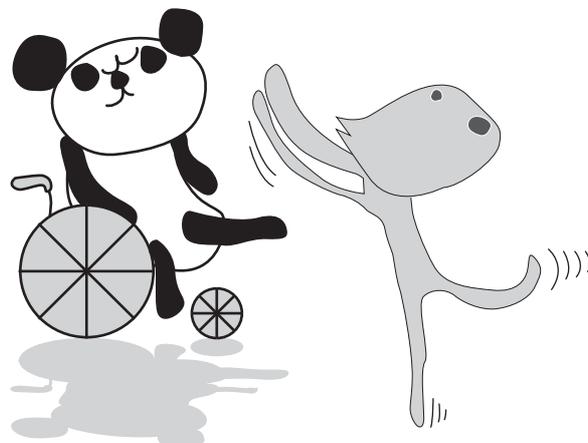
しかし、複雑な仕組みにすることで新たに生じる事務工数などを考えると、この法律を施行していくことによる間接コストはいったい幾らくらいになるのだろうか？更に、実際にこの法律によるサービスの利用者、従事者の満足度を

かんが けつ よ ほうりつ おも ところ め み
 考えると、決して良い法律ができたとは思えないのだが、そこが目に見えて
 けいき どうこう さゆう えいきょう だ まい の り て い ー ゆえ くや
 景気の動向を左右するようなまでの影響を出しにくいマイノリティー故の悔
 しさである。

ところで「人間らしく生きる」とはどんなことか？人は一人ぼっちでは生き抜
 けない生き物なんだと思う。ということは人と人とがつながりをもつことが
 人間らしく生きるうえで必要不可欠なことなんだと思う。人と人とがつながる
 から人の間と書いて「人間」というのではないだろうかというのを、以前テレビ
 で見た気がする。金八先生だったかもしれない。情報源はともかく、こういう
 にんしき た ひと て か おお しょうがいしゃ ひと も
 認識に立てば、人の手を借りることが多い障害者は人とのつながりが持てて
 しあわ い しょうがいしゃ ひつよう ひと て ごかい おそ
 幸せじゃないかと言われそうだが、障害者の必要とする人の手は、誤解を恐れ
 ずに言わせてもらえば単なる道具としての手であり足である。

しょうがいしゃ どうぐ ひと て か はじ ひと も
 障害者は、その道具である人の手を借りて初めて人とつながりが持て、それ
 が安定して初めてつながりが持ち続けられるのである。しかし歳出カットを
 さいだ い もくてき ほうりつ ひと せいげん
 最大の目的にした法律ができることによって、人とのつながりに制限がされる。
 すなわち人間であることを制限されるといっても過言ではないというのがこの
 ほうりつ なかみ かな でいーえぬー かいごほけん う つ
 法律の中身である。そしてその悲しいDNAは介護保険から受け継がれ、やが
 きゆうしゅう いきお
 て吸収されていきそうな勢いである。

いまいちど じりつ なに にんげん なに さまざま ひと かんが こうどう
 今一度、「自立とは何か」「人間らしさとは何か」を様々な人が考え行動して
 いくことが重要なんだと思う。



へるばーさんたちのあそびば

だいにじゅっかい さとう めぐみ
第二十回：佐藤 恵

さあ、次のSTEPへ！

STEPにお世話になり始めて、早、丸3年？

途中、登録だけで他の仕事をした時もありましたが、通算すると3年くらいになるようです。

周りの人々を含め、環境に恵まれ、のりくらりとやらせて頂いています。

私の本職は、精神障害の方を相手にする仕事です。今年の1月28日、29日と、「精神保健福祉士」という国家資格を取るための試験がありました。結果は3月31日に発表になるのですが…それまでの期間が憂うつで…と言いなながらも、みなさんがこの文を目にされている時には、既に飲みまくって遊びまくっている事でしょう（笑）

世間でいう、フリーターになりますが、こんな感じで自分がやりたい事をやらせて頂いています。自分のやりたい事をやれているのも、STEPで仕事がもらえているからです♪

いろんな仕事を掛け持ちしつつではありますが、STEPはまた学ぶ事が多い職場です。人と人との関わりですから、そりゃ～学ぶ事多し！ですよ。

人は人と関わる事で成長すると思っています。私の成長をみなさんに助けて頂いています。ありがたい限りです。

こうして書いていますが、実はまた新しい仕事が始まり、STEPに関わる時間が減りました。しかし、自分がやりたくて始めた仕事です。また成長するチャンスを手に入れたのです！

また、登録を残しつつ、お手伝いできる時はお手伝いさせて頂くという形にはなってしまうのですが、みなさん、お会いした時はどうぞお喋りにお付き合い下さいませ（笑）

今後とも、どうぞ宜しくお願いします！

勝矢光信の情報発信!!コーナー



葛西臨海公園へ。(2006年2月14日) :

春の風とやさしい太陽の光に誘われて、皆、啓蟄の虫のように、外出し始めた。13:56発、一之江から葛西臨海公園まで4.5km走るバスに、なんと6台ものベビーカーと1台の電動車イス。村松運転手さんも驚いていた。一之江からのベビーカー2台は折りたたんで席に。葛西からの3台は、そのまま乗った。最後の夫婦連れには、「折りたたんでくだされば、乗れます」と運転手さんが頼んで、夫が赤ちゃんを抱き、奥さんがベビーカーを折りたたんで乗った。赤ちゃん同士が、手を伸ばしてかまいたたり、ガンをつけ合って対抗意識を燃やしたり、すやすや寝ていたり。(途中で1台が降りた。) ノンステップさまざまだった。バリアフリー運動は、車輪文化を日常生活に導入する運動であると思っていたが、今日は、まざまざとその現実を見て、確信した。何度も言うようであるが、明治・大正政府が、自動車文化導入のために、道路を造り、五島慶太が100m道路建設を主張し、皆が反対したのと同様に、(皆が反対しても)家庭内や公共の場で、ベビーカー・車輪付きボストンバック・車イス・手押し車は普及し、それに対応できるインフラ整備が必要だった。東京は、早かった。絶望的になった時もあったが、皆、賢明であった。将来は、とても明るい。

その後調べたら、ベビーカーのまま乗車可能になった(都交通局2006年2月1日許可)。都バスは「自己責任において」という条件が付いている。画期的!子育て支援の重要な柱となった。赤ちゃんを片手に抱え、ベビーカーを折りたたんで、料金を払っているテクニク姿は、神業であり、いつもハラハラしていた。日本全国どこでも普通に見られる光景であった。車イスがこれだけ

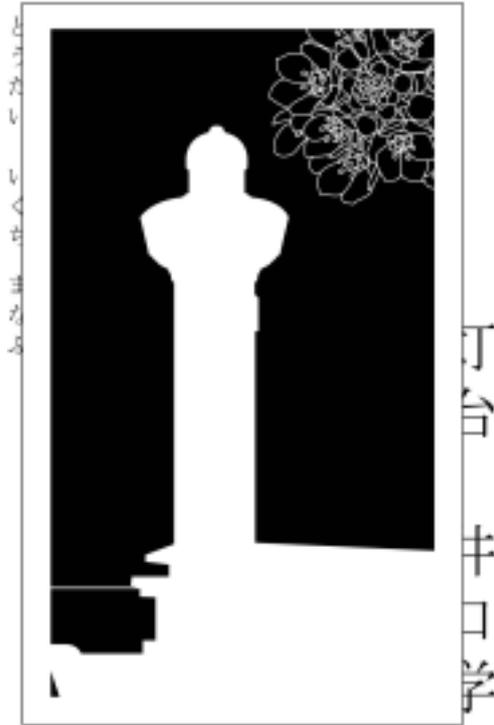
優遇されているのだから、ベビーカーも何とかならないのかと思っていた。これで、赤ちゃんを抱えるかぼそい腕も、ずっと楽になるであろう。ヨーロッパの市電では、古くからあたりまえのように、大型ベビーカーがそのまま乗っていた。私の記憶違いだろうか？やっとなん、東京も追いついた。

安全性も、規則で縛り上げるよりも、「自己責任において」選択できた方がよい。障害者にも、「自己責任」と「選択の余地」がほしい。「絶対にエスカレーターは使わせない」場はかなり存在していて、担当職員を待って、エスカレーターや昇降エレベーターを操作してもらうのをじっと待つムダも多い。「自己責任」と「選択の余地」は、自立への、そして、自由へのキーワードかもしれない。



narrative based helper (ナラティブ・ベイスト・ヘルパー) :

最近、はやってきた。声をかけあって、お互いに語り合いながら、物語をつむぐような気持ちで、お客さまの気持ち、思い出、過去の傷などをきちんと受け止めながら、それにふさわしい対応をしていく介助方法。Narrativeは、ナレーションの形容詞で、「物語りの」「話の」という意味。言葉に限らず、しぐさで伝えられる場合もある。Basedは「～に基づく」という意味。お客は、心を表現することで、介助を依頼しやすくなる。老人や障害者は、介助に期待する内容と一致しないと、いらいらや不安を生じる。ヘルパーさんも信頼感を得て、喜ばれる介助を提供できるようになる。今までの介護教育は、介助技術に重点が置かれ、技術教育・実習・訓練で免許を得ていた。重要なのは、「対話・語り合い」で、今、その技術が求められている。お客の視点を知り、お客の思考にそうことは、なによりも最初に得るべき技術といえる。「人の話を聞く文化」は、マスメディアの発達によって失われた。隣人の話に耳を傾ける習慣は、いつの間にか消えてしまった。拝金主義で、福祉も短時間に多くの金を得る方法だけを考えるようになった。障害や老いのために、自己の存在価値を否定し、自分の社会的役割を見失ってしまっているお客さまの話を聞き、同じ目線に立ち、その人生を肯定し、ともに歩めるヘルパー教育が、今、必要とされている。



夜の帳が降りたときに見える一筋の灯り。灯台だ。灯りはいつからか俺を照らす。だけど申し訳無えけど、俺は迷っている訳でもねえから、照らされる必要はねえよ。

だけどその灯台、いつでも俺を照らす。俺を案内してえんじゃねえかも知れねえ。もしかしたら何かあるのかも知れねえ。でも俺もそんなに暇じゃねえからな。気が向いたら行ってやるよ。そんなことを思ってから結局、千年経った。その間も灯台は俺を照らしていたよ。

「嗚呼 そうか。お前だったのか。お前はいつだって、灯台になりたがっていたからな。俺は莫迦にしていたけど こんな処に居たのか。本当に灯台になったのか。お前凄エよ」

千年以上忘れていた。千年。別にお前の処に帰って来た訳じゃねえ。唯何となく、足が向いた方に歩いて来たただけなんだ。そうしたら灯りが見えた。お前が見えた。帰って来ることも出来た。実際何度も帰って来ようと思った。でも何かひとつやり遂げる迄は帰って来たくはなかった。負けて逃げ帰るみてえじゃねえか。でも何かひとつやり遂げると、新しく何かやりたくなんだよ。そして次から次へと何かを始める。何かを始めてしまったらもう止まることはない。そうやって千年もやって来た。お前無しで千年やって来た。

「なあ お前のことをいつでも想っていた訳じゃない。お前のことを忘れたこともある。そうだ 俺はお前無しでも幸せだった。お前は俺無しでも照らしてきた。俺たちきつともう、お互いのことは必要無いな。

だけど俺 お前のことを思い出したよ。何度も何度も。だからと言って何も変わらなかったけど でもお前のことを思い出したら何だか嬉しかった」

とうだい なに い とうだい
灯台は何も言わなかった。そりゃそうだろう、灯台だ。

「綺麗な花になりたかったよ、俺は。そうすりゃ皆が喜んでくれるかと思つてよ。でも幾ら頑張っても酸素を生産することは出来なかったよ、消費することは出来たけど。何より俺、見た目が厳ついから綺麗なものになてなれる訳やねえ。怖えし。まあわかっちゃいたけど、悲しかったな。だからって諦めるのは癪だったから、せめて絵に描いた。これが綺麗に描けたんだ。皆も其れを喜んでくれた。何より俺自身が嬉しかったんだな。嗚呼 これだ!!って思つたよ。何だ こんな簡単なことだったのか。こんなことだったのか、って。無理はやめたよ。不思議な、人間無理しているときは何も上手く行かなくて苦しくて、それでもう駄目だ、諦めるか、って思つたときにさり気無くすべてが上手く行くみてえだよ。う～ん、俺にはよくわかんねえ」

そしてお前のところもわからねえ。前は何も言わなくてもわかつたのに、あんなに確信があつたのに、今はもう灯台。俺の中で何か解けた気がした。って言うか解けたんだ。花になれなかつた俺と灯台。そりゃ似合うわけもねえ。お前に似合う為に船乗りになるつもりもねえ。

「じゃあ俺 行くよ」

灯台は何も言わない。俺もこれ以上何も言えねえ。お前のがわかんねえ、残念だけど。でもよお、俺きつとお前のが好きだわ。今度いつお前と会うかわかんねえけど、もう二度とお前を思い出すことはねえかも知れねえけど、俺お前のごこと、きつとずっと好きだ(つた)。

「ほら あかりを灯せよ。もしお前がまた照らしてくれるのなら、いつかまた此処でお前に会えるかもしれない」

12月/1月/2月/3月 活動報告

2005年

- 12/07 (水) スタッフミーティング
- 12/14 (水) スタッフミーティング
- 12/18 (日) 全国政策研修会 参加
- 12/21 (水) 江戸川養護学校相談
スタッフミーティング
- 12/22 (木) 理事会
- 12/23 (金) STEP Xmas会 開催
- 12/26 (月) TIL主催：自立支援法勉強会 参加
- 12/28 (水) スタッフミーティング／大掃除

2006年

- 1/04 (水) 仕事始め／ミーティング
- 1/07 (土) 自立支援法勉強会
- 1/10 (火) 江戸川区の福祉を考える会主催 自立支援法説明会
- 1/12 (木) 江戸川区主催 自立支援法講演会
- 1/16 (月) 全国大行動
江戸川区区議会傍聴
職場体験実習受け入れ
- 1/18 (水) 理事会
- 1/25 (水) スタッフミーティング／理事会
- 1/27 (金) TIL勉強会 参加
- 2/05 (日) 集中ピアカン講座 開催
- 2/06 (月) 集中ピアカン講座 開催
江戸川養護学校進路授業

- 2/07 (火) 集中ピアカン講座 開催
か しゅうちゅう ぴあ かん こうざ かいさい
- 2/08 (水) スタッフミーティング／理事会
すい すたっふ みーてい ینگ りじかい
- 2/13 (月) 江戸川養護学校進路授業
げつ えどがわ ようごがっこう しんろ じゆぎょう
- 2/15 (水) 江戸川養護学校相談
すい えどがわ ようごがっこう そうだん
 スタッフミーティング
すたっふ みーてい ینگ
- 2/16 (木) 江戸川区の福祉を考える会主催 自立支援法勉強会
もく えどがわ く の ふくし かんが かいしゆさい じりつしえんほうべんきょうかい
- 2/17 (金) 江戸川区介護保険シンポジウム
きん えどがわ く かいごほけん しん ぽ じう む
- 2/20 (月) 園田議員勉強会
げつ そのだぎいんべんきょうかい
- 2/21 (火) 江戸川区の福祉を考える会
か えどがわ く の ふくし かんが かい
- 2/22 (水) スタッフミーティング
すい すたっふ みーてい ینگ
- 2/23 (木) バリアフリー住宅勉強会
もく ばりあふりー じゅうたくべんきょうかい
- 2/26 (日) 東京都事業者説明会
にち とうきょうとじぎょうしゃせつめいかい
- 2/27 (月) TIL勉強会
げつ ていりんべんきょうかい
- 3/01 (水) 江戸川区事業者説明会
すい えどがわ く じぎょうしゃせつめいかい
- 3/03 (金) U D シンポジウム
きん ゆーでいー しん ぽ じう む
- 3/06 (月) C I L くにたち 自立支援法勉強会
げつ しーあいえる じりつしえんほうべんきょうかい
- 3/08 (水) 聴覚模擬研修
すい ちょうかくも ぎけんしゅう
- 3/17 (金) 第二弾C I L 職員向け研修 ぶっちゃけ！聴覚障害者研修 開催
きん だいにだんしーあいえるしよくいん む けんしゅう ちょうかくしょうがいしゃけんしゅう かいさい

がつかつどうよてい
 4月活動予定

4/05 (水) お花見 開催
すい はなみ かいさい

*以降予定、随時お知らせします。

福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
 お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！
 — 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 パムック 

江戸川区新堀1丁目25番1号
 (レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802

会員募集

STEPえどがわは、STEPポリシーとSTEP訓の下、障害者の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、当法人の活動趣旨にご賛同いただける皆様に会員（正・賛助）になっていただき、共に自立生活センターSTEPえどがわを支え育て下さる仲間を募集します。

正会員（正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます）

- ・登録料 5,000円（入会時のみ）
- ・会費 5,000円/年

サポーター会員（賛助会員）

- ・個人 1口 3,000円/年（1口以上）
- ・団体・法人 1口 10,000円/年（1口以上）

会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

会費納入先

<郵便振替> 自立生活センターステップえどがわ No. 00110-0-579238

<銀行口座> 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ

三菱東京UFJ銀行 瑞江支店普通 0548550



編集後記

へん しゅう こう き

いよいよ4月^{がつ}から自立支援法^{じりつしえんほう}へと移行^{いこう}される。いつの時代^{じだい}も変化^{へんか}はするものの、制度^{せいど}によってこれほどめまぐるしく、また後退^{こうたい}していく風^{ふう}に思える障害者^{しょうがいしゃ}の地域生活^{ちいきせいかつ}。いつの時代^{じだい}も障害者^{しょうがいしゃ}は前進^{ぜんしん}していく気持ち^{きもち}でいっぱいなのに。時に後ろ向き^{うしむき}になる時^{とき}、そのまま受け止め^{うけとめ}、パワー^{ばわー}をくれる仲間^{なかま}と共に進んできた^{すす}。障害者^{しょうがいしゃ}だけではなく、人は生きていく限り前^{まえ}へ向こうとする。それは当たり前^{あたり}のこと。制度^{せいど}が変わっても、私^{わたし}たちは前^{まえ}へ進める力^{ちから}を信じて前進^{ぜんしん}し続ける。もちろん、この会報^{かいほう}を読^よんでくださる皆^{みな}さんのパワー^{ばわー}も信じて。

これからも情報^{じょうほう}を発信^{はっしん}していきます。最後までお読み頂^{さいご}き、ありがとうご^よざいました。



へんしゅう
編集 :

とうきょうとしていきよたくしえんじぎょうしゃ
東京都指定居宅支援事業者
 とくていひえいりかつどうほうじん えぬびーおーほうじん
特定非営利活動法人(NPO法人)
 自立生活 **センターSTEP** えどがわ
 じりつせいかつ すてつぷ

〒133-0065

とうきょうとえどがわくみなみしのざきまち
 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7 1F

tel : 03-3676-7422

fax : 03-3676-7425

main@step-edogawa.com

http://www.step-edogawa.com